

一般社団法人日本小児血液・がん学会
2019年度臨時社員総会議事録

1. 日 時：2019年11月15日（木） 8時00分から8時40分まで
2. 場 所：広島コンベンションホール 2F メインホール 2A+B（第1+2会場）
3. 出席者：社員（評議員）総数 296名 この議決権数 296個
出席社員（評議員） 206名（委任状を含む） この議決権数 206個
4. 議 長：細井 創
5. 定足数

以上のとおり定足数に達したので、定款の規定により理事長細井 創は議長席に着き、開会を宣した。まず第61回学術集会檜山英三会長より学術集会開催に関する挨拶がなされ、その後、議事に入った。

（報告事項）

1. 庶務報告の件

議長は、庶務・財務委員会松本公一委員長に報告を依頼し、松本委員長より庶務報告がなされた。

2. 令和元年度上半期事業報告

各委員会委員長より、委員会活動状況について、資料をもとに、以下の報告がなされた。

<規約委員会>

- ・定款細則の第15条常設委員会の項目を修正した。

<評議員等資格審査委員会>

- ・新規評議員申請者を審査し、14名を適格と判定した。
- ・評議員資格喪失に関する審査を実施した。
- ・評議員申請資格に関する論文業績の点数化基準を改定した。

<利益相反委員会>

- ・役員、委員、学術集会発表者の利益相反管理を行った。

<学術集会プログラム委員会>

- ・第61回学術集会優秀演題を選定した。

<学会誌編集委員会>

- ・学会誌発行状況が報告された。
- ・共著者の著作権譲渡同意書について、共著者が個別に提出しても可と変更した。それに伴い、責任著者が集約をして編集事務局にまとめて同封すること、フォーマットの共著者番号を削除することとなった。

<診療ガイドライン委員会>

- ・「領域横断的がん取り扱い規約」（小児腫瘍の章）を作成・編集した。
- ・「成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン」を評価した。

<学会賞等研究審査委員会>

- ・第9回日本小児血液・がん学会学術賞受賞者及び令和元年度大谷賞受賞論文が報告された。

・令和元年度小児医学川野賞学会推薦者及び令和元年度白血病研究基金一般研究賞学会推薦者が報告された。

<研究審査委員会>

・研究審査委員会審査状況が報告された。

<学術・調査委員会>

・2016年～2018年の登録症例の集計状況が報告された。

<疾患委員会>

・各疾患小委員会活動状況が報告された。

・日本医学会のWGにて「優性/劣性」の「顕性/潜性」への改定案についての議論が継続審議となっており、12月17日に行われる用語委員会にて情報収集・情報提供にあたる事が報告された。

・再生不良性貧血・MDS委員会委員が公募中であることが報告された。評議員でなくとも会員であれば委員となれるため、積極的な応募を促すよう周知がなされた。

<看護委員会>

・看護師・医師が連携して実施するケアに関する実態調査について議論・検討を行い、研究題目「日本小児血液・がん学会専門医研修施設における小児がん患者へのケアの実態」として研究計画書・質問紙などを作成し、2019年11月6日に承認されたことが報告された。

<教育・研修委員会>

・地区セミナー、教育セミナー、緩和ケア研修CLICの予定が報告された。

・がんの子どもを守る会より、2019年度海外留学助成事業について、本会に助成対象者選定作業の依頼があり、本委員会で選定作業を行うこととなった。

<専門医制度委員会>

・各種認定状況が報告された。

・第6回小児血液・がん専門医試験を実施した。

・2021年問題について報告された。

<保険診療委員会>

・PCR-MRD検査施設の新規認定、認定更新、厚労省への学会要望がなされた。

・2020年度診療保険改定に向け、複数の要望書を提出した。

・「医療上必要性が高い未承認薬・適応外薬検討会議」へ対応と公知申請をした。

・「NUDT15遺伝子多型検査試薬の早期承認および保険適用」、「ブリナツモマブ製剤の携帯型精密輸液ポンプ適応」について厚生労働省へ要望書を提出した。

・小児医薬品開発ネットワーク事業（日本小児科学会指導のAMED「臨床研究・治験推進研究事業」）に参加した。

<国際委員会>

・KSPHO学術集会の演者として2名を推薦し、講演が行われた。

・第61回学術集会日韓ジョイントシンポジウムの招聘者2名を選定した。

・WHO小児がんProjectが2018年からの取り組みとして立ち上げられた。今後、JSPHOとしてもJCCGおよびNCGMと連携し、協力していく方針が確認され、具体的な行動に向けてWGを組織していくことが報告された。

<長期フォローアップ・移行期医療委員会>

・来年度も事業を継続するため厚労省との審議内容が報告された。予算の採択は財務省の判断次第

のため、今後も継続して審議をしていく予定である。

3. 第64回日本小児血液・がん学会学術集会会長選任結果の件

議長より、理事会における審議の結果、越永従道評議員が第64回日本小児血液・がん学会学術集会会長に選定されたことが報告された。越永従道評議員より就任の挨拶がなされた。

4. 第62回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、菊田敦次期会長に報告を依頼し、菊田敦次期会長より第62回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2020年11月20日（金）～22日（日）
- ・会場：ビッグパレットふくしま（福島県産業交流館）
- ・テーマ：かなえよう みんなの夢

5. 第63回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、井上雅美次々期会長に報告を依頼し、井上雅美次々期会長より第63回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2021年11月25日（木）～27日（土）
- ・会場：大阪国際会議場
- ・テーマ：Science and Narrative

6. 1) 常設委員会の規約変更について

議長より、本会常設委員会の規約変更について、責任体制のあり方や委員の任期について質問がなされ、副島規約委員会委員長より、今後、規約委員会にて検討していくことが報告された。

2) 社会・広報委員会

本学会ホームページについて来年には改変される予定であることが報告された。

議長は、以上をもって一般社団法人 日本小児血液・がん学会の臨時社員総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。

令和元年11月15日 一般社団法人日本小児血液・がん学会 臨時社員総会

議長 細井 創 (印)

議事録署名人 井上 雅美 (印)

議事録署名人 仁尾 正記 (印)